

こちらどうぞ (おとなもいっしょに)

「u & i えほんシリーズ」



えぬえいちけー いー ゆー あんど あい せいさくはん へん にしだ まさふみ げんさく
NHK Eテレ「u & i」制作班/編 西田 征史/原作
すずき ゆい え しゅつぽん
鈴木 友唯/絵 ほるぷ出版

こどもたちのモヤモヤやこまりごとについて、いっしょに考える絵本シリーズ。人形のシッチャカとメッチャカが、「ココロのでんわ」などを使って、どうしたらいいのか、考えるためのヒントをくれます。

「障害があってもいっしょだよ！」 1~6



マリ・シュー/文 イザベル・ムニョス/絵 上田 勢子/訳 大月書店

ていがくねん よ しょう りかい えほん しょう
低学年からやさしく読める障がい理解の絵本シリーズ。障がいをもつ子どもたちが主人公になって、授業や学校生活での困りごと、どんなサポートがほしいかなど、わかりやすく説明しています。

「こんなおともだちってすごいね！」 1~4



トレーシー・パッキアム・アロウェイ/ぶん アナ・サンフェリッポ/え
たなか やすお かんしゅう とみほら え やく ごうどうしゅつぽん
田中 康雄/監修 富原 まさ江/訳 合同出版

えーでいーえいちでいー じへい しょう ふあんしょう こ
ディスレクシア、A D H D、自閉スペクトラム症、不安症の子どもたち。困りごともあるけれど、得意なこともあります。子どもたちの特性と、かかわり方をやさしいストーリーで紹介しています。

「NHKふつうってなんだろう？えほん」シリーズ



えぬえいちけー せいさくはん へん しゅつぽん
NHK「ふつうってなんだろう？」制作班/編 ほるぷ出版

じぶん こま
自分では「ふつう」のことなのに、困ったな…。そんなエピソードを本人が語ります。あなたの「ふつう」と違いはあるでしょうか。
えぬえいちけー しよせきか
NHKのショートアニメーションを書籍化。

キミヘノチカラシリーズ

自分を知る。 あなたを知る。



す きら とくい にごて
好きなこと、嫌いなこと、得意なこと、苦手なこと…
ちが じぶん ちが ふしぎ おも
みんなそれぞれ違います。自分と違うからこそ不思議に思ったり、モヤモヤしたり、悩んだりしたことはありませんか？
なや
じぶん あいて ちが りかい かんが
自分と相手の違いを、理解したり考えたりするために
ほん しょうかい
おすすめの本を紹介しています。

帯広市図書館
2024年3月 発行

イベント情報発信中♪

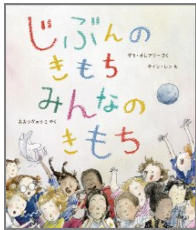


@obihirorlibrary

帯広市図書館
「キミヘノチカラシリーズ」
ブックリストにアクセス♪



えほん



「じぶんのきもち みんなのきもち」

サラ・オレアリー／さく チン・レン／え おおつか のりこ／やく
あかね書房 (Eレン)

みんなそれぞれの「きいてほしい」があつまった絵本。自分とともだちのきもちを大切にしたいと思える一冊です。



「まただくん」

たけだ みほ さく え 武田 美穂／作・絵 ポプラ社 (Eタケダ)

まただくんは、いじわるばかりする。だから学校に行きたくない。わたしの大事なえんぴつを、まただくんが折った。次の日、まただくんは…。



「みんなとおなじくできないよ」

ゆあさ しょうた さく いしい きよたか え 湯浅 正太／作 石井 聖岳／絵 日本図書センター (37.8ユ)

ほかの子とちょっとちがう弟。好きだけど、なんだか恥づかしい。そう思ってしまうボクはダメな子なのかな？ 障がいのある弟をもつ、お兄ちゃんの気持ちによりそうお話。



「ひみつのビクビク」

フランチェスカ・サンナ／作 なががわ ちひろ／訳 廣済堂あかつき (Eサンナ)

ちいさなビクビクはわたしだけのひみつのともだち。だけどこのくに引っ越してきたら、ビクビクが大きくなってわたしのじゃまをするようになって…。



「ころべばいいのに」

ヨシタケ シンスケ／作 ブロンズ新社 (Eヨシタ)

どうにもこうにも嫌いな人がいる。そんな自分の気持ちとどう向き合えばいいのかを考える絵本。ちよっぴりイライラ、モヤモヤしたときに読んでみてください。

よみもの



「ともだちのときちゃん」

いわせ じょうこ さく うえだ まこと え 岩瀬 成子／作 植田 真／絵 フレーベル館 (91.3イワセ)

なんでもしているおしゃべりのさつき。ともだちのときちゃんとはなにをするにもゆっくりで、おしゃべりもとくいじゃない。ときちゃんってなにをかながえているんだろう…。



「二年二組のたからばこ」

やまもと えつこ さく さとう まきこ え 山本 悦子／作 佐藤 真紀子／絵 童心社 (91.3ヤマモ)

二年二組には、たからくんのおとしものを入れる「たからばこ」がある。そんな、おとしもの多いたからくんと、あるときわたしはいつしよに日直をすることになったのです。



「4年2組がやってきた」

のむら かずあき さく え 野村 一秋／作 ささき みお／絵 くもん出版 (91.3ノムラ)

5年生のマーくんは、脳性まひで話すこと、歩くこと、手を動かすことができません。あるときからマーくんひとりだけの「にじ組」に週に一度、4年2組がやってきて交流することに…。



「みんなふつうで、みんなへん。」

ますの こういち さく うちだ え 榎野 浩一／作 内田 かずひろ／絵 あかね書房 (91.3マスノ)

みんな、毎日何を考えているんだろう。ふつうに見えるけど、実はちょっとした勘違いもしている。小学3年生の日常をユーモアたっぷりにお届けする。



「あっちもこっちもこの世はもれなく」

いとう みく／作 ころりよ／絵 P H P 研究所 (91.3イトウ)

公太は「努力せずに背が高い希来里」がうらやましい。ぼくはこんなに努力しているのに。不公平じゃないか！一方、希来里にもうらやましいと思うことがあって…。